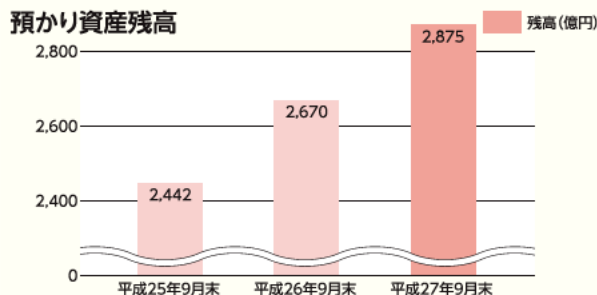
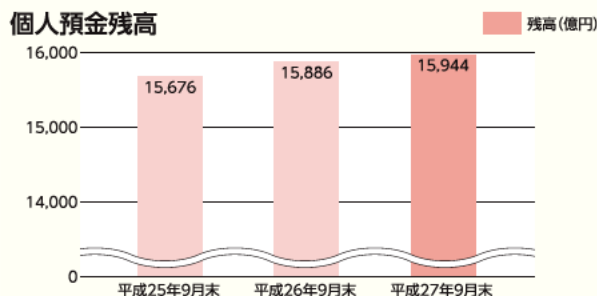
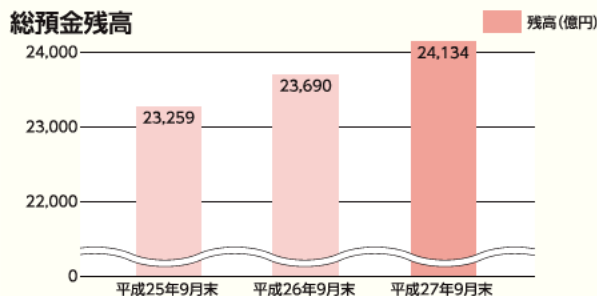


業績ハイライト

預金の状況

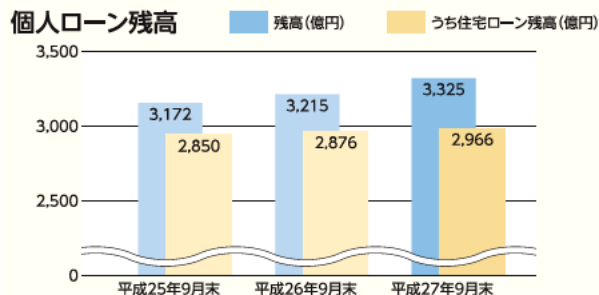
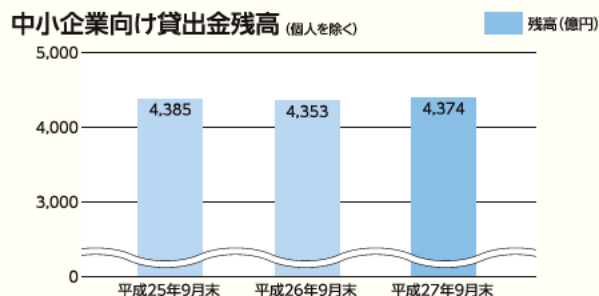
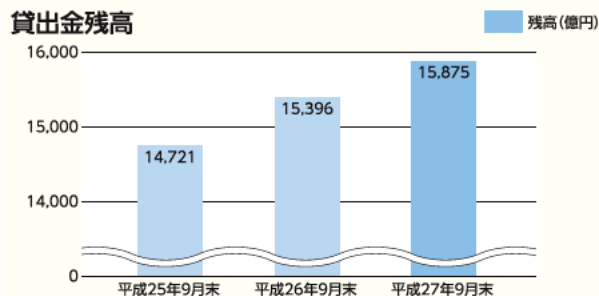
平成27年9月末の預金は、個人預金が堅調に推移したことに加え、法人預金も増加したこと等により、譲渡性預金を含めた総預金残高は2兆4,134億円(前年同期比1.8%増)となりました。

また、平成27年9月末の預かり資産残高は、個人年金保険等が大幅に増加したことにより、2,875億円(前年同期比7.7%増)となりました。



貸出金の状況

平成27年9月末の貸出金残高は公共貸出金をはじめ一般貸出金、個人ローンいずれも増加したことから、1兆5,875億円(前年同期比3.1%増)となりました。



損益の状況

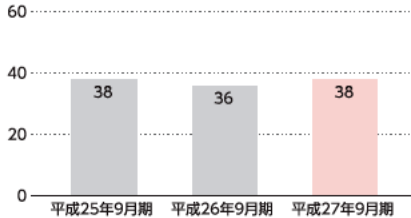
コア業務純益は、利回り低下により貸出金利息が減少したものの、手数料収入の増加や経費の減少等により、前年同期比1億円増益の38億円となりました。

経常利益は、前期に計上した債券償還益が剥落したものの、与信費用の減少や株式売却益の増加により、前年同期比60百万円増益の48億円となりました。また、中間純利益は税金費用の減少等により、前年同期比3億円増益の36億円となりました。

コア業務純益

銀行の本来業務から得られる利益をより正確に表す指標です。

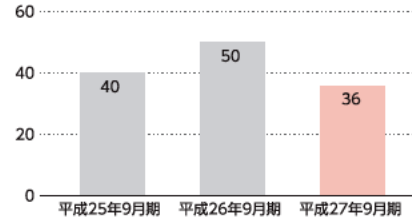
(億円)



業務純益

預金・貸出・為替業務など、銀行の本来業務から得られる収益力を示しています。

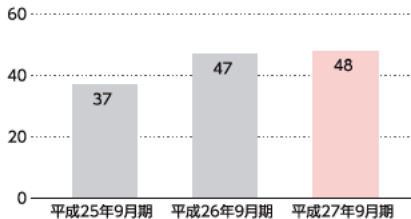
(億円)



経常利益

業務純益に株式等の損益や不良債権処理にかかる費用などを加減した利益です。

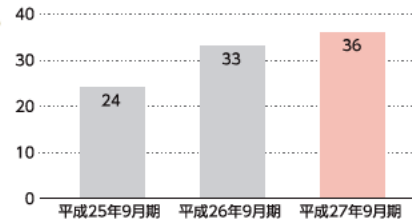
(億円)



中間純利益

経常利益に特別損益や税金などを加減した最終的な利益です。

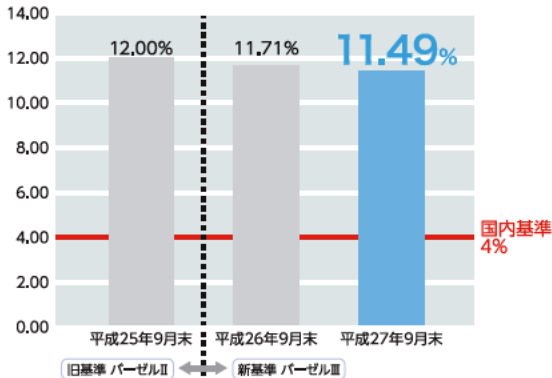
(億円)



自己資本比率

平成27年9月末の自己資本比率は11.49%となりました。引き続き国内基準である4%を大きく上回っております。

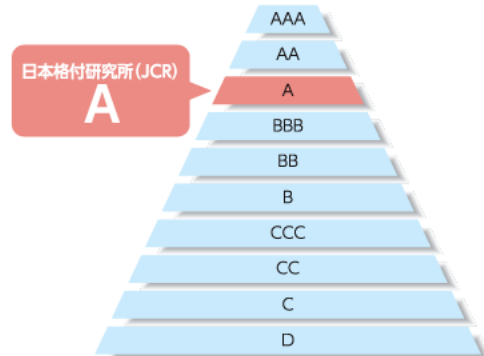
なお、平成26年3月末より新しい自己資本比率規制(バーゼルⅢ)に基づき自己資本比率を算出しております。



格付け

当行は、格付けについて公正で権威ある日本格付研究所からA格付け(長期発行体格付)を取得しており、安全性について高い評価を受けています。

(平成27年9月末現在)

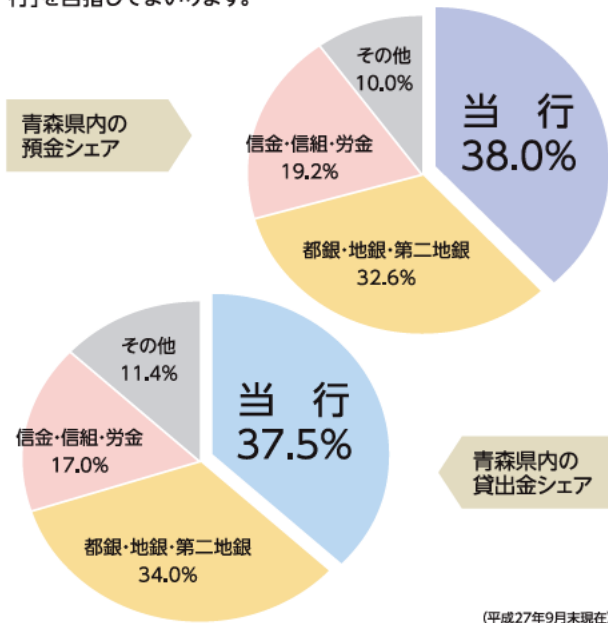


県内シェア・ATMネットワーク網

※記載金額は表示している単位未満を切り捨てています。また、構成比率、増減率、その他の比率は、表示している数値未満を切り捨てています。

預金・貸出金の県内シェア (ゆうちょ銀行を除く)

お客さまの高いご支持により、青森県内において、預金・貸出金ともトップシェアを保持しています。創業より130余年にわたり、皆さまから信頼され続けた結果であり、引き続き「信頼される銀行」を目指してまいります。

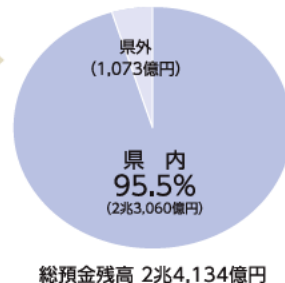


預金・貸出金の県内比率

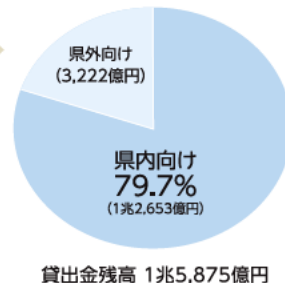
当行預金の県内比率は95.5%であり、大半は地元青森県内のお客さまからお預かりしたものです。一方、貸出金の県内比率は79.7%となっています。

(平成27年9月末現在)

預金の県内比率



貸出金の県内比率



ATMネットワーク網

当行設置ATM(県内241ヵ所、県外6ヵ所)のほか、共同ATM(県内40ヵ所、県外1ヵ所)や、他金融機関とのATM提携およびコンビニATM提携により、青森県内外の様々な場所で当行のATMサービスをご利用いただけます。

●ATM提携の状況 (平成27年9月末現在)

あすなるネット	県内ATM網の相互補完。【提携先】県内全信用金庫・青森県信用組合・JAバンク青森・東北労働金庫(県外ATMを含む)
AAIネット	北東北3行ATM網の相互補完。【提携先】岩手銀行・秋田銀行
北洋銀行	北海道、青森県ATM網の相互補完。
北海道銀行	北海道、青森県ATM網の相互補完。
ゆうちょ銀行	当行ATM未設置町村の当行のお客さまの利便性向上。

イーネット	全国のファミリーマート等でご利用いただけるコンビニATM「イーネット」との提携。
セブン銀行	全国のセブン-イレブンやイトーヨーコーダー等でご利用いただけるセブン銀行ATMとの提携。
バンクタイム	サークルKやサンクス等でご利用いただけるコンビニATM「バンクタイム」との青森県内提携。
ローソンATM	全国のローソン等でご利用いただけるコンビニATM「ローソンATM」との提携。
イオン銀行	全国のイオングループ各店(イオン、マックスバリュ、ミニストップ等)でご利用いただけるイオン銀行ATMとの提携。
他業態とのATM提携	クレジットカード19ブランドの払出業務等に関するATM開放。うち7ブランドは入金サービス業務も提携。

不良債権の状況

金融再生法に基づく開示債権

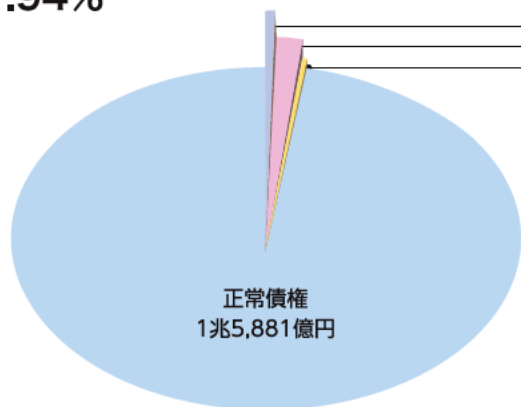
平成27年9月末の正常債権を除く開示債権は、315億円となりました。

また、総与信額に占める割合は、1.94%となりました。



開示債権(正常債権を除く)の割合

1.94%



総与信額 1兆6,196億円

(単位：億円)

	平成26年 9月末	平成27年 3月末	平成27年 9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	46	59	78
危険債権	247	220	206
要管理債権	34	38	30
小計	329	318	315
正常債権	15,359	15,763	15,881
合計	15,689	16,081	16,196

破産更生債権及びこれらに準ずる債権／78億円

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。

危険債権／206億円

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。

要管理債権／30億円

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

合計／315億円

(平成27年9月末)

金融再生法開示債権の保全状況 (平成27年9月末)

正常債権を除く開示債権額のうち87.6%は、引当金や担保等によって保全されています。

(単位：億円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	78	78	100.0
危険債権	206	178	86.4
要管理債権	30	19	63.2
合計	315	276	87.6